

認定こども園つむぎ野

施設情報

施設の写真

外観



お部屋の様子



施設概要

住所	多賀城市鶴ヶ谷一丁目11-2
お越しの際の目標物	国道45号線沿いの東北電力塩釜営業所の裏手・総合体育館の南側
電話	022-363-1856
入所定員	82名
建築年、建物構造、面積	令和5年/木造平屋建1部2階建て/863.23㎡
園庭面積、遊具	930㎡ 総合遊具、ジャングルジム、砂場等
保護者駐車場	保育園前11台分
災害時一時避難場所	天真小学校 総合体育館
設置・運営主体	学校法人 旭ヶ丘学園

保育目標（こんなこどもに育てたい）

「自信と意欲を持って遊びを創りだす子どもたち」

学校法人旭ヶ丘学園では、保育目標に掲げる子ども像達成のため、次の3つの体験が重要であると考えます。

感じる

自然や生活の中で、五感（見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れる）を使って感じとること。

幼児期にこそ育みたいことのひとつに「感じる」心があります。子どもたちは、この世界に生まれた瞬間から五感を使って多くのことを学び、その体験は体が記憶します。知識よりも前に、体を通して感じる体験、心に響くモノ・コトに出会ってほしいと考えます。

みつめる

「なぜ」「どうして」と自分なりに考えること。

五感を通して感じた体験を重ねていくと、これまでの体験と比較するなどして、「おもしろいな」「すごいな」「どうして」と思うようになります。子どもたちにはそれぞれ、出会ったモノ・コトにゆっくりじっくりと向き合う時間やタイミングまたペースがあります。一人ひとりの「みつめる」時間を大切にしたいと考えます。

創る

「こうかな?」「どうなるのかな?」「こうしてみよう!」と

自分で決めたことをとことん追究し、のびのび表現すること。

心に響くモノ・コトにじっくり時間をかけて向き合っていくと「こうかな?」「どうなるのかな?」「こうしてみよう!」と考えたり、工夫したり、試したりするようになります。さらに友だちと共有することで、自分にはない考えに触れ、新しい考えを生み出す楽しさや面白さを感じるようになります。仲間がいるからこそできる、豊かな生活・遊びを創ってほしいと考えます。

この3つの体験は、単独で繰り返されたり、3つが順を追ったりすることで、子どもたちの中に積み重なり、その先に「自信と意欲を持って遊びを創りだす子どもたち」が育ちます。また、この3つの体験の土台となるのが、【神秘さや不思議さに目を見張る感性】です。この言葉は、レイチェル・カーソンの著書<センス・オブ・ワンダー>に記されています。この中でカーソンは次のように述べています。<「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない・・・>と。これはまさしく学校法人旭ヶ丘学園が目指す子どもたちの姿です。幼い子ども時代こそ、知識よりも前に「感じる心」を育て、深い感受性や豊かな情緒をはぐくむ土壌を耕すときであると考えます。

保育の特徴（こんな保育をしています）

誰もが生まれながらにして持っている「センスオブワンダー」（神秘さや不思議さに目を見張る感性）そのみずみずしい感性を、曇らせることなく、縮こませることなく、子どもたちの遊びの中の学びを深めていきます。

また、大人も子どもも、小さい子の大きい子も、地域の人たちも、みんなで『ごちゃまぜにつながり合いながら』心地よくぬくもりのある暮らしをつくっていきたいと思っています。

ひとりひとりの子どもたちを、みんなで見守り共に育ち合う暮らしの場、それが鶴ヶ谷保育園です。そして、そのためには、次の4つのことを大切にしています。

● ゆったり

「おはよう」から「また明日」まで、ゆったりと流れる時間。子どもたちの興味関心から出発する遊びを中心とした保育は、一人ひとりのペースも大切にすることはもちろん、みんな一緒に時間も大切にしています。

● のびのび

子どもたちは一人ひとりみんな違い、一人ひとりキラリと輝く個性を持っています。そんな子どもたちには、あるがままの自分をのびのびと表現してほしいと思います。そして、子どもたちに寄り添う大人たちは、子どもたちのあるがままをおおらかに受け止める存在でありたいと思います。

● とことん

「なんでだろう」「なぜ」「やってみよう」「もういっかい」「もっともっと」時間を気にせず、体中の全ての感覚を使って、仲間とつながり、考え、試し、話し合い、とことん遊ぶことによって、遊びの中の学びを深めます。

- たっぴり
巡る季節の自然をたっぴりとくぐり抜け、良質な絵本と玩具をたっぴりと傍らに置き、丁寧な食と昔の知恵が詰まった手仕事をたっぴりと味わいながら、子どもたちと共に、遊びと暮らしに豊かな彩を紡ぎ出していきます。

保育サービスの内容

保育の内容など

項目	内容
開所日	月曜日から土曜日まで
開所時間	7時15分～18時15分
保育短時間設定	9時～17時
休所日	日曜日、祝日、年末年始
登所自粛協力日	なし
受入可能月齢	生後2ヶ月から
給食	自園調理（直営） 調乳、離乳食対応あり
アレルギー対応	代替食対応可能（可能な限り対応します。）
主な行事	入園式、誕生会、遠足（年2回）、保育参加、七夕会、運動会、発表会、豆まき、ひなまつり会、卒園式 など
地域交流	園庭、保育室随時開放、地域の子育て中の親子との交流、小学校との交流、
サポーター会	あり。令和4年度年会費6,000円
実費徴収金	延長保育料（月額）：標準時間2,500円／短時間1,100円 副食費（月額）：4,500円
連携施設	－（地域型保育事業所のみ記載）

※主な行事のうち、網掛けのものについては、保護者参加の行事です。

その他子育て支援サービスの内容

種類	実施有無	内容
延長保育	○	時間：18時15分～19時15分（土曜日なし） 対象年齢：0歳児から 定員：20名程度
障害児等受入れ体制	○	施設やお子さんの状況により要相談
地域子育て支援	○	主な取組：交流会時の子育て相談 （非在園児対象）

※障害児等とは、比較的障害や発達の遅れの程度が軽く、集団保育が可能なお子さんが対象です。障害児等への保育については、入所案内に詳細がありますので、該当する可能性がある場合には、必ずご覧ください。

保育所からのメッセージ

2023年4月より、幼保連携型認定こども園としてスタートします。無垢の木をふんだんに使った新園舎は、光と影、動と静、内と外を穏やかにつなぎながら、子どもたちの遊びとくらしを豊かに紡いでいきます。見学も随時、受け付けております。お気軽にお問い合わせください。